

初心者のための株入門ミニ講座

ファイナンシャル・コンサルタントの比嘉啓子さんに、これだけは知っておきたい株式用語と、初心者が抑えておくべき株取引に際しての基礎知識を聞いた。

比嘉啓子さん

ファイナンシャル・コンサルタント
為替トレーダー、資産運用会社
会計、コンプライアンスを経て
2000年よりファイナンシャル・
コンサルタント。米国証券取引、生命保険・健
康保険セールス、インベストメントアドバイザー
の免許を持つ。www.hkateadvisors.com



これだけは押さえない株式用語

- 証券会社 (brokerage firm) : 株を売買する会社。
- ブローカー (broker) : 株の売買の免許を持ち、株の売買ができる人や会社。
- 手数料 (fee, commission) : 株の売買で発生する費用。
- 指値 (limit order) : 「〇〇ドルなら買いたい」などと、希望価格を指定して注文を出すこと。
- 成行 (market order) : 銘柄と株数のみを指定して、価格はその時点の相場にゆだねる注文方法。
- 損切り (stop loss) : 自分の購入した株が指定した値段に達したら、自動的に売られるように設定すること。

- インデックス (index) : 株式市場を表す指標。アメリカではダウ平均、日本では日経平均など。
- ポートフォリオ (portfolio) : 安全性や収益性を考えた、有利な分散投資の組み合わせ。
- ミューチュアルファンド (mutual fund) : 株を集めた投資商品、いわゆる投資信託。ファンドマネジャーが売買を決定し、利益が得られるように運用。一つのファンドに何十種類もの株が含まれているので、株を単独で買うよりはリスクを分散できる。
- インデックスファンド (index fund) : 投資信託の一種。上記のインデックスに基づいて運用されるファンド。

比嘉さんへ聞く

株取引の基礎知識

〈口座開設編〉

—どんな人が株の口座を開き、売買ができるのですか？
ニューヨークなら21歳以上が対象になります。(それ以下の場合は保護者の許可が必要です)。ソーシャルセキュリティナンバーと有効なビザ、最近ではテロ防止のため、米政府発行のIDも必要で、持っていないと現金を振り込むことすら拒否されることがあります。

—直接店頭へ行って口座を開くのと、インターネット証券とどちらが便利ですか？

インターネット証券は家でもできるので便利です。その場合は上記の書類を郵送したり、店頭へ持って行く必要があります。最近では店頭へ行くとアドバイザーがいろいろ質問に答え、アドバイザーもしてくれるので足を運んでみるのもよいでしょう。

—インターネット証券もいろいろありますが、何を基準に選べばよいのでしょうか？

手数料の安さ、リサーチの豊富さ、それに加えて会社の評判も確認したいものです。

〈株の売買編〉

—どの会社の株でも買えるのですか？

株式を公開している会社の株しか購入できません。

—売買ごとに発生する手数料はどのくらいかかりますか？

— だいたいですが、売買総額の2%以下です。

— 株売買で発生する税金は？

銀行口座と同じと考えてください。利子がついたら翌年年初に本人とIRS(税務署)に通知いき、確定申告しますよね。これは株の利益に対しても当てはまります。源泉徴収にしたい場合は、事前に手続きをしておけばできます。

— 一番基本的な銘柄の選び方を教えてください。

— 初心者の方にはまず、自分になじみのある会社の株を選ぶことをおすすめします。

— 株の買い時、売り時のタイミングはどうやって見極めればよいのでしょうか？

株は下がったら買い、上がったなら売りましょう。ほとんどの人がその逆の行動を取っています。またマスコミからの情報にも影響され過ぎないようにしましょう。例えば9・11同時多発テロ後、株価が暴落して騒がれましたが、その後1週間ほどではほぼ元に戻りました。

— 株で大損はしたくないのですが…

株の売り方で「損切り」(上記の用語集参照)というのがあります。これを活用すれば、大きな損失を防げます。また、自分の投資の目的をはっきりと立て、期間を決めることも重要です。自分が取れるリスク許容量を調べ、それに従って株、ファンドを買い、ポートフォリオを組みましょう。株式投資はリスクが付き物ですので、元本割れも覚悟の上で、ある程度、余裕のあるお金、長期的な運用が可能なお金を投資してください。